

参加者募集



「まちの記憶を聴き、風景を描く」
本プログラムは、横川というまちに息づく人々の声や風景をリサーチし、スケッチによって記録・表現するアートプロジェクトです。今回の「フェーズ1・リサーチ＆スケッチ編」では、参加者がまちの人の話を聞き、感じ取った風景や記憶をスマホやタブレットを使ってデジタルスケッチします。そのスケッチは「記憶のディテール」として、画家手嶋勇気さんが描く「俯瞰したまちの全体図」と組み合わせられ、一つの大きな作品へと昇華されます。アーティストは、リサーチプログラムとは別に、まち全体を俯瞰する視点で描き進めていきます。※完成した作品は、「横川まちの芸術祭」での街中展示や、作品のプロセスは広島電鉄「走る美術館」での展示として公開予定です。

マツダ財団支援事業 | 横川アートリサーチプログラム

かこう会



今ここ！

フェーズ1

リサーチ & スケッチ編



フェーズ2

共同制作編



参加者とアーティストと一緒に共同制作をします

8月下旬予定 参加無料

フェーズ3

発表・展示編



・横川まちの芸術祭：まちなかに作品展示
・広島電鉄「走る美術館」制作プロセスを車内に展示予定

9月13日～28日予定



リサーチ & スケッチ編

(全3回) 10:00～14:30 / 各回8名定員 / 有料

まちの人から話を聞き、風景や記憶を観察。デジタルスケッチで“感じたもの”を描くワークショップ。

第1回

6.7 (土)

「三篠の歴史」のお話

話し手：三篠神社 宮司さん
場所：三篠神社

第2回

6.29 (日)

「商店街」のお話

話し手：横川商店街 理事長さん
場所：横川商店街事務所

第3回

7.13 (日)

グラフィティと
「高架下」のお話

話し手：山中酒店 店長さん
場所：AIR Hiroshima Gallery

まちの記憶を スケッチする

【主催】主催：よこげい実行委員会

2025年度公益財団法人マツダ財団 市民活動支援事業

応募はこちら！

対象：12～25歳の青少年（優先）
※大人も参加可
定員：各回8名（少人数制）
参加費：12～25歳…2,000円/回
大人（26歳以上）…5,000円/回
※ヨコゲークエスト特典プログラム
持ち物：iPadまたはiPhone（iOS）
+ Adobe Fresco（無料アプリ）
※貸出機器あり
（申込時に申請ください・数に限りがございます）



フェーズ1

リサーチ & スケッチ編

対象：12～25歳の青少年(優先)+大人も参加可

定員：各回8名(少人数制)

参加費：12～25歳…2,000円/回 大人(26歳以上)…5,000円/回

※ヨコゲークエスト特典プログラム

持ち物：iPadまたはiPhone(iOS)+Adobe Fresco(無料アプリ)

※貸出機器あり(申込時に申請ください・数に限りがございます)

※Adobe Frescoは、事前にダウンロードをお願いします



第1回

「三篠の歴史」のお話

話し手：三篠神社 宮司さん

場所：三篠神社 (広島市西区三篠町1丁目11-5)

6.7 (土)

長い歴史とともに、このまちの記憶を見つめてきた場所から、まちの源泉を探ります。

第2回

「商店街」のお話

話し手：横川商店街 理事長さん

場所：横川商店街事務所 (広島市西区横川町3丁目1-18)

6.29 (日)

人々の暮らしが交差する商店街。その変化と今を知る視点にふれてみましょう。

第3回

グラフィティと「高架下」のお話

話し手：山中酒店 店長さん

場所：AIR Hiroshima Gallery (広島市西区三篠町1丁目12-9)

7.13 (日)

お店を代々営んできた店主さんとアーティストの話から横川とアートの関係を探ろう。

全回共通スケジュール

所要時間：約4～5時間/各回8名定員

10:00～11:00 | まちの人の話を聞く

11:00～11:30 | スケッチの描き方レクチャー

11:30～12:30 | 昼休憩 (※お弁当をご持参ください)

12:30～14:30 | 話し手とともに、まちを巡りながらスケッチ実践

10:00～11:00
「まちの人の話を聞く」
のみの参加も
募集中!

デジタルスケッチって？

Adobe Fresco (無料アプリ) を使用し、ペンと紙ではなく、携帯やiPadの画面に指やApple Pencilを使って描きます。

見た風景を描いても、話から連想される風景を描いても大丈夫です。「あなたのまなざし」が作品になります!

※Adobe Frescoは、事前にダウンロードをお願いします



講師



手嶋勇気 Yuki Tejima

1989年北海道生まれ。主な題材として広島風景を描く。作家自身がその土地の歴史や営みとどう関わるのかを模索する試みである。

主催：よこげい実行委員会
2025年度公益財団法人マツダ財団市民活動支援事業



公益財団法人
マツダ財団